

目 次

| | |
|-------------------|-----|
| 1 熊本城のあらまし | …1 |
| ☆今さら聞けない「お城」の基礎知識 | …7 |
| 2 「加藤清正」とは | …11 |
| 3 「やりすぎの城」 | …13 |
| 「食べられる城」 | …15 |
| ☆秀吉への恩義 | …17 |
| 4 熊本城周辺施設の紹介 | …20 |
| 5 その他観光案内 | …25 |
| 6 観光お得情報！！ | …32 |

なぜなに 熊本城

1 熊本城のあらまし

Q 日本三大名城の3つのお城、知っていますか？

→ （設計者による）日本三名城は、城作りの名手とうたわれた藤堂高虎・加藤清正によって築城されたもののうち、「名古屋城」・「大阪城」・「熊本城」の三城のこと。



加藤清正が築城した熊本城は日本三大名城の1つ。

別名 銀杏（ぎんなん）城

- 城郭の規模をもとにした選定
江戸城、名古屋城、大坂城
- 江戸時代の天守
名古屋城、姫路城、**熊本城**
- 「日本名城百選（2008年）」の上位3位
 - 1.大坂城
 - 2.**熊本城**
 - 3.江戸城

参考 他に加藤清正が築城した城・・・名古屋城、江戸城、大阪城等

Q 熊本はもともと「隈本」と呼ばれていたが、なぜ「熊本」になったのか？

→ 「隈」は「おそれる」と読むことができる部分を含むことから武士としてはよくない。加藤清正が築城した時に、「隅本」よりも「熊本」の方が勇ましかろうと言う理由で「熊本」と改名した。

清正は死後、その遺骸は甲冑の武装のまま石棺に朱詰めに入れ、本妙寺の浄池廟（じょうちびょう）に埋葬された。

↓その後、

細川忠利が領主になり、忠利は熊本城内の本丸御殿に住むことになった。

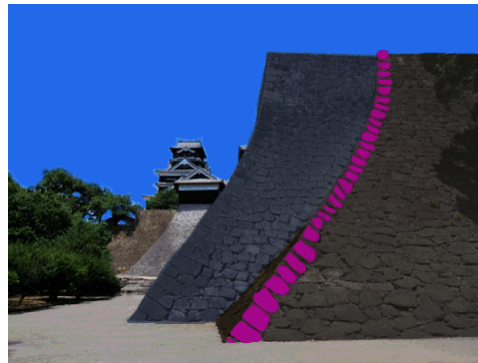
↓しかし、

使いにくいのでリフォームをした（人が住みやすいように広くしたりして快適にした。）。

→ 本丸御殿の敷地を増やすために加藤清正の石垣は壊さず、新たに石垣を作った（熊本にお金がなかったため、このように工夫するしかなかった）。



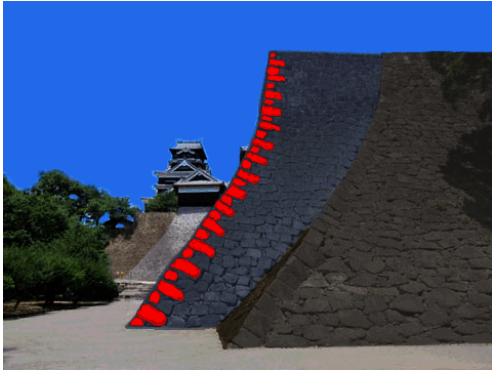
※「二様の石垣」・・・(加藤清正が築いた方法) 穴太 (あのを) 積み
別名 清正 (せいしょう) 流石垣
→自然石をそのまま積み上げる方法である。



↓その上に、細川家が

算木積み (さんぎづみ)

→石垣の出角部分 (隅石) の積み方。長方形の石の長辺と短辺を交互に重ね合わせることで強度を増している。



☆（加藤清正の築城した）機能性重視・・・すぐに戦争に対応できる城
→ コンパクト（狭い）

⇔ 居住性・快適性

↓しかし、それでも住みにくいということで、

細川家は、花畑屋敷（はなばたやしき）に住むようになった。

→ 加藤清正像のある場所から、南は花畑公園（はなばたこうえん）、東は市役所前バス停あたりまで占めた壮大な屋敷があった。

※森鷗外の小説「阿部一族」の時代

・・・森鷗外も熊本に来ている。

細川忠利が亡くなりその家臣19名が殉死した。阿部弥一右衛門はそのうちの一人である。忠利の子・光尚が藩主となった翌年の1643年、阿部弥一右衛門の子阿部権兵衛が、先代・忠利の法事で髻を切り投獄された。

「阿部一族」は屋敷に立てこもった阿部一族と討ち手との戦いを描いた小説（ことごとく討ち取られ、権兵衛は縛り首にされた）。



西南の役で西郷軍がこの城（新政府軍）を攻めたが落城せず。
（しかし、戦闘の2日前に天守閣等の多くの建物が焼失。）

なお、この戦いでは武者返し（清正流石垣）が大いに役立ち、熊本城を甘く見ていた西郷軍は、誰一人として城内に侵入することができなかったという。

参考 西郷隆盛の言葉・・・「わしは官軍に負けたのではない清正公に負けたのだ」



熊本城に「陸軍第6師団」が置かれ、九州の中核として都市が発展したため、軍都と呼ばれた。



1960年熊本国体開催と築城350年を期に、熊本市は一般からの寄付も募り1億8000万円の費用をかけ大小天守と平櫓、塀などを再建。
天守は鉄筋コンクリート造りで、内部では史料等が展示されている。



2007年築城400年に際して、本丸御殿をはじめ、西出丸の塀、戌亥櫓、元太鼓櫓、奉行丸の塀、未申櫓、南大手門などの建造物が復元された。

今さら聞けない 「お城」 の基礎知識

☆今さら聞けない「お城」の基礎知識

- 天守（閣）・・・最終防衛拠点と位置付けられ、権威を誇示するための象徴的な高層建築。武器庫のように物置として使われていた。

例外 織田信長は安土城の天守閣に住んでいた。

⇒ 城主（大名）は通常は、天守閣近くの本丸御殿に住んでいた。

「天守十徳」（天守の10の利点と目的。江戸時代の兵学より）

- 1.城内を見渡せる
- 2.城外を見晴らせる
- 3.遠方を見望できる
- 4.城内の武士の配置の自由
- 5.城内に気を配れる
- 6.守りの際の下知の自由
- 7.敵の侵攻を見渡せる
- 8.飛び道具への防御の自由
- 9.非常の際に戦法を自在にできる
- 10.城の象徴

メモ

熊本城には大天守、小天守があるが、
大天守は、儀式を行う場であり、武器庫でもあった。

- 本丸・・・戦時には最終防衛線となる城の中枢部である。
本丸御殿のような城主（大名）の居住兼政務建物や天守閣がある。

※ 二の丸・三の丸等・・・本丸防衛が目的の場所。通常、本丸を取り囲むように作られた。

- 堀・・・敵が入ってこれないように城の周りに掘られた溝のこと。川や海、湖を堀に利用することもある。

例 空堀、水堀等

- 石垣

- 櫓・矢倉（やぐら）・・・矢や鉄砲を発射するための建物をいう。

- 狭間（さま）・・・天守閣や櫓の壁面、塀などに開けてある防御用の窓穴。戦闘の際はそこから身を守りつつ攻撃した。



- ・弓矢・・・縦長の穴
- ・鉄砲・・・丸形や三角形の穴

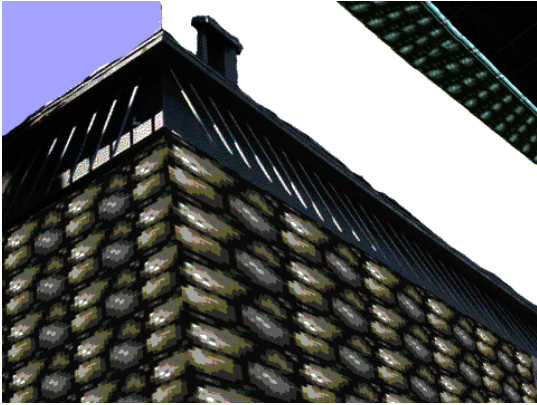
- 石落とし（いしおとし）・・・天守・櫓・塀などに、そこから出っ張った形で下方向に向けて開けてある防御用の穴。



石垣を登ってくる敵の頭上から落とす
例 石、煮え湯や糞尿、油など

比較 狭間 ……前方向にいる敵へ
石落とし ……建物・城壁・石垣などの真下方向にいる敵へ

- 忍び返し ……石垣の上に下向きにびっしりと並んだ鉄串。忍者などの侵入を防ぐ為のもの



- 枳形（ますがた） ……通路の途中の折れ道に枳形（四角形の空間）を設け、そこに門を2重に構えた場所。攻撃側が一番目の門からその空間に侵入した場合、2番目の門に城内への侵入を阻まれ、枳形内部で守備側からの攻撃を四方から浴びることとなる。

- 城下町 ……武士を城下に集住させ、市街に商工業者を住ませた町のこと。これにより、戦争のときは、城をすぐに守ることができ商工業がとても発達した。

加藤清正とは

2 「加藤清正」とは



- ・尾張の国（名古屋）出身で豊臣秀吉の子飼いの武将。
秀吉とは遠い親戚で、幼いころ父を亡くし、子供の時に秀吉に小姓として仕えるようになり、秀吉にとってもかわいがられて大きくなった。
- ・槍の名手で、織田信長死後の後継者争い（秀吉VS柴田勝家）「賤ヶ岳の戦い」で活躍した（「賤ヶ岳七本槍」と呼ばれたほど。）。
- ・几帳面（凝り性）、心配性で・・・土木工事・城作りの名人(特に石垣づくり)
- ・日蓮宗の熱心な信者

例 戦場で翻らせた旗（題目旗）・・・白地に朱色で題目（南無妙法蓮華經）を書いた旗

- ・口の中に拳を入れる事ができたという逸話あり。新選組局長・近藤勇も憧れていた清正にあやかり、真似をして拳を口に入れていたという。
- ・秀吉は熊本の北側半分を加藤清正の領地、南側半分を小西行長の領地として与えた。

- ・秀吉の命で、朝鮮半島に出兵（文禄・慶長の役）

●蔚山城（うるさんじょう）の戦い・・・1597年12月、日本軍が築城していた蔚山倭城へ約6万人の明・朝鮮軍が攻め寄せた。清正は急遽側近のみ500人ほどを率いて蔚山倭城に入城（『清正高麗陣覚書』による籠城兵力は10,000人）。城が未完成で籠城準備が整わないままでの防衛戦を余儀なくされた。井戸もなく城内には食料が備蓄されておらず、冬の寒さと飢えとにより倒れる者が続出し、死んだ馬の肉を食べたり泥水をすすって命をつながなければならぬ危機的状況に陥った。

毛利秀元や黒田長政等の援軍の到着まで明・朝鮮軍の攻撃に10日ほど耐え、この戦いを明・朝鮮軍に20,000人の損害を与える勝利へと導いた。

馬刺し等の馬肉料理が熊本の郷土料理となったのは、この時の加藤清正の経験があったからだという説あり。

- ・朝鮮飴（熊本の銘菓）・・・清正が朝鮮出兵の際、もち米や水あめ・砂糖などを原料とした長生飴というものを非常食として常備したことからできたお菓子。
- ・朝鮮出兵中に虎退治をしたという伝承あり。
- ・加藤清正が、朝鮮半島からセロリを日本に持ち込んだという説があり、セロリの異名の一つが「清正（きよまさ）人参」である。
- ・秀吉の死後の関ヶ原の戦いでは、石田光成率いる西軍にはつかず、徳川家康の東軍について戦った。

「やりすぎの城」 とは

- 3 熊本城の2つの秘密
→ 完璧な防御力と籠城戦に耐える力

「やりすぎの城」

- ・・・西南戦争で「難攻不落の城」であることが証明された。
 - 西南戦争では、4000人の籠城で、西郷軍14000人の攻撃に耐え、ついに撃退に成功した。
- ・武者返し「清正（せいしょう）流石垣」・・・熊本城では、はじめ緩やかな勾配（扇の勾配）のものが上部に行くにしたがって垂直に近くなる形状の石垣を多用している。石垣がはじめ緩やかなので、梯子をかけにくく登りにくい。
- ・階段・・・敵の進行を少しでも遅らせるため、階段の高さや長さが歩きにくい寸法で作られており、1段1段の高さや長さも変えられ、歩幅を頻繁に変える必要があるつくりになっている。

- ・ 60か所の櫓（狭間、石落としの仕掛け）

- ・ 5重の枳形

- ・ 川（白川、坪井川、井芹川）を堀の一部として利用

- ・・・加藤清正は、熊本城築城の予定地の側に、いわゆる都市河川である 坪井川と、阿蘇から流れてきている白川が合流する様を見て、これは流路を分けて、城に近い坪井川を内堀に、遠い白川を外堀として、河川改修を行った。



城の堀としてだけでなく、白川の氾濫を未然に防ごうとする設計でもあった。

「食べられる城」 とは

「食べられる城」・・・籠城戦になった時の食料確保のための工夫

↑ 加藤清正は、朝鮮半島へ出兵した時の籠城戦（蔚山城の戦い）での食糧不足で死にかけたことがあった。

・銀杏がたくさん植えられている・・・籠城時の食糧

例 城中には他に梅、竹を、堀にはレンコンが植えられていた。
→ これがきっかけで郷土料理「からしレンコン」がつくられるようになる。

・建物内の畳・壁・・・籠城時の食料の確保に関して、清正は城内の

- ①建物の土壁に「干瓢（かんぴょう）」を塗りこめ、
- ②畳には食用になる「ずいき（芋茎。里芋の茎を干したもの）」

を用いて備えたという。

- ・井戸が120か所つくられた・・・朝鮮半島での蔚山城籠城戦では井戸がなく、とても水で苦勞したことから



熊本城は茶臼山の上に築城。茶臼山は9万年前の阿蘇火砕流堆積物でできているが、水が溜まりにくい性質の地層のためその地層をぶち抜かなければその下にある地下水を汲むことができなかつた。

→ そのため、深さ30メートルを超える井戸が多い。

☆熊本市の水道の水はとてもおいしい？

阿蘇山があるため、熊本市は地下水が豊富で地下水を利用して水道水を供給しているほど（川やダムからの水ではない）

水道原水のデータを国に提出したところ、あまりの水質の良さに国の担当者から「原水のデータですか？ 何かの間違いでは」と確認の電話が入ったという。



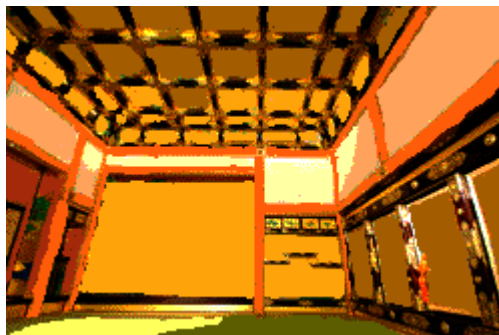
秀吉への恩義

☆秀吉への恩義

・加藤清正は関ヶ原の戦いでは徳川家康の東軍について戦ったが、豊臣秀頼を守りたいと思っていた。

例 本丸御殿の「昭君の間」・・・「しょうぐん（将軍）の間」

→ 秀吉亡き後秀頼を熊本城に迎えて、秀頼を守るためならば家康であっても戦う覚悟だった。



本丸御殿の最深部には、中国の故事に登場する王昭君の絵画のある「昭君之間（しょうくんのま）」と呼ばれる部屋があった。

この部屋には鶯張りの廊下や外へと通じる隠し通路があったといい、藩主の居間として使われていたようだが、秀吉の子秀頼に危険が迫ったとき、秀頼を密かに匿うために造られた部屋であるという説がある。

“しょうくん” = “しょうぐん”（将軍）の意とする説がある（当時は濁点を打たないので、仮名で書けば同一になる）。表向きは天下人の徳川家康に従いしながらも、秀吉への恩を忘れない清正の心を示しているのだという。

関ヶ原の戦い（1600年）の後

1611年3月、加藤清正は、二条城で家康と豊臣秀頼との会見を取り持つなど和解を斡旋。

↓しかし、帰国途中の船内で発病し、

同年6月24日に熊本で死去。享年50（満49歳没）。

◆熊本城 開園時間

・3月～11月 8時30分～18時00分（入園は17時30分まで）

・12月～2月 8時30分～17時00分（入園は16時30分まで）

※ただし、天守閣等建物への入館は閉園30分前まで。

◆熊本城 入園料

【個人】

おとな 500円

こども（小・中学生）200円、幼児無料

【30人以上の団体】

おとな 400円

こども（小・中学生）160円

※有料入園者が30名以上で団体料金となります。

【熊本城・湧々座（桜の馬場 城彩苑）共通入場券】

おとな 600円

こども（小・中学生）200円

【熊本城・旧細川刑部邸共通入場券】

おとな 640円

こども（小・中学生）240円

☆☆ そのほかの 熊本城内の見どころ ☆☆

☆宇土櫓は熊本城の中で築城当時のものである（内部に入ることができる！）。



☆熊本城内で中に入れる建物・・・天守閣、宇土櫓、本丸御殿・飯田丸五階櫓、数奇屋丸。

☆長堀（石垣）は日本一の長さである。



☆銀杏（いちょう）の木（本丸）・・・「銀杏城」という名の由来になっている木である。

清正は「この銀杏の木が天守と同じ高さになった時にこの城で兵乱が起こるだろう。」とつぶやいたという言い伝えがある。明治時代、清正が植えた銀杏の木は天守とほぼ同じ高さになっていたが、明治10年に西南戦争が起こり、熊本の城下が戦場となった。

熊本城周辺施設 の紹介

4 熊本城周辺施設の紹介

・歴史文化体験施設 湧々座（桜の馬場 城彩苑）

・・・迫力ある映像・展示、パフォーマンスで熊本城の歴史を体験

◇問合せ先 TEL 096-288-5600

◇営業時間

4月～10月 8:30～18:30（入園は18:00まで）

11月～3月 8:30～17:30（入園は17:00まで）

◇料金

個人 大人 300円、小中学生 100円

30名以上の団体 大人 240円、小中学生 80円

◇定休日 12月29日～31日

- ・千葉城（跡）公園（宮本武蔵の居宅跡）・・・現在NHK熊本放送局がある。
宮本武蔵は、ここに住んでいた。
武蔵が当時使っていたという井戸が残っている。

～宮本武蔵とは～

- ・吉川英治の小説「宮本武蔵」、井上和彦の漫画「バガボンド」（放浪者）で有名。
- ・兵法家、剣術家。二刀流（二天一流）の使い手で、死ぬまで全勝無敗。生涯独身。
- ・巖流島（船島）の決闘で佐々木小次郎と決闘し勝利
- ・晩年、細川忠利に客分として招かれ仕えた（千葉城跡に屋敷を与えられ住む）。鷹狩り（一般には家老以上の身分でなければ許可されなかった）が許されるなど客分としては破格の待遇で迎えられる。
- ・書画等も描いている。
- ・熊本西部の金峰山のふもと霊巖洞にこもって「五輪書」（兵法の極意書）を書いた。
- ・1645年6月13日 千葉城の屋敷で亡くなる。

※死去の7日前、弟子の寺尾孫之允（丞）に兵法書『五輪書』と共に与えたとされているのが、以下の「獨行道」である。

獨行道 二十一箇条

- 一 世々の道をそむく事なし
- 一 身にたのしみをたくまず
- 一 よろずに依枯の心なし
- 一 身をあさく思世をふかく思ふ
- 一 一生の間よくしん思わす
- 一 我事におみて後悔をせず
- 一 善惡に他をねたむ心なし
- 一 いつれの道にもわかれをかなしませ
- 一 自他共にうらみかこつ心なし
- 一 れんほの道思ひよるこゝろなし
- 一 物毎にすきこのむ事なし
- 一 私宅におみてのそむ心なし
- 一 身ひとつに美食をこのます
- 一 末々代物なる古き道具を所持せず
- 一 わか身にいたり物いみする事なし
- 一 兵具は格別よの道具たしなます
- 一 道におみては死をいとわず思ふ
- 一 老身に財寶所領もちゆる心なし
- 一 佛神は貴し佛神をたのます
- 一 身を捨てても名利はすてす
- 一 常に兵法の道をはなれず

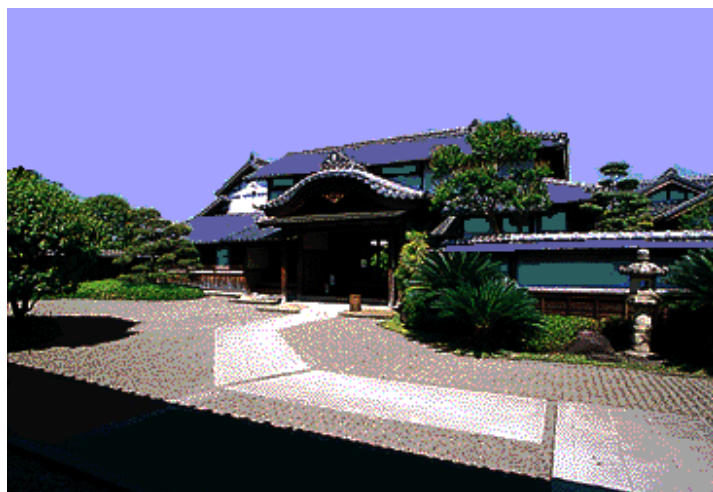
正保貳年 五月十二日 新免武藏
寺尾孫之丞殿

玄信

- ・ 死後、遺言により細川公の参勤交代の道路脇に甲冑・具足をつけて埋葬された（武蔵塚公園）。しかし、生前敵が多かったため墓を暴かれることも考えたのか、いくつかの武蔵の墓といわれるものがある（西の武蔵塚）。



- 旧細川刑部邸・・・細川刑部家（ほそかわぎょうぶけ）は細川忠利の弟、刑部少輔興孝（ぎょうぶしょうゆうおきたか）が1646年に2万5千石を与えられ興したものである。その居宅であった「細川刑部邸」は全国有数の上級武家屋敷としての格式をもった建物。



- ・熊本県立美術館(熊本城二の丸)・・・「細川コレクション常設展示室」を設け、永青文庫所蔵品の一部を年に数回入れ替えながら展示している。

永青文庫・・・江戸時代から戦後にかけて所在した広大な細川家の屋敷跡の東京都文京区目白台にある、日本・東洋の古美術を中心とした美術館。旧熊本藩主細川家伝来の美術品（書画、骨董、刀剣等）、歴史資料や細川家の収集品がある。宮本武蔵の筆による書画等も所蔵している。

◇開館時間

午前 9 時 30 分～午後 5 時 15 分（入館は午後 4 時 45 分まで）

◇休館日

月曜日（月曜日が祝日・休日の場合は開館し、その翌日が休館）、年末年始

◇観覧料金

※高校生以下の学生、および障がい者手帳を持参した場合は無料

◇【共通券（別棟展示室＋本館二階展示室）】

一 般 400 円（300 円）

大学生 240 円（180 円） ※（ ）は 20 名以上の団体料金。

◇【展示室ごとの観覧料金】

別棟展示室のみ

一 般 200 円（150 円）

大学生 120 円（100 円）

本館二階展示室のみ

一 般 260 円（190 円）

大学生 160 円（120 円） ※（ ）は 20 名以上の団体料金。

5 その他観光案内

- ・水前寺成趣園（すいぜんじじょうじゅえん）・・・江戸時代の藩主である細川家ゆかりの御茶屋に1636年に開園された桃山式回遊庭園。豊富な阿蘇の伏流水を利用した東海道五十三次をあしらった庭園では散策しながら、四季を通じて美しい眺めを楽しむことができる。



◇料金表

大人（高校生以上）400 円、子供（小・中学生）200 円

大人（団体 30 名以上）360 円、子供（団体）180 円

※団体料金は、大人・子供あわせて 30 名以上

障害者手帳を持参した場合

大人 200 円、子供 100 円（団体割引はなし）

◇営業時間

3 月～10 月 7 時 30 分～18 時（入園 17 時 30 分まで）

11 月～2 月 8 時 30 分～17 時（入園 16 時 30 分まで）

◇駐車場 なし

・本妙寺

○浄池廟（じょうちびょう）・・・加藤清正の遺骸はここに埋葬されている。
本妙寺の境内にあり、宝物館もある。



○宝物館・・・宝物館には清正の遺品や加藤・細川家に関する文書・書画・工芸品・鎧兜等、が収蔵、展示されている。

◇開館日

土・日・祝日（当山行事の都合により休館の場合もあり）

◇開館時間

午前 9 時～午後 4 時 30 分

◇入館料

大 人 300 円（団体 300 円）

（特別展の場合は別）

高校・大学生 200 円（団体 200 円）

小・中学生 100 円（団体 50 円）

※団体（10人以上）の場合は予約にて開館日以外でも受付

・武蔵塚公園

・・・宮本武蔵は、死後も藩主を見守りたいという遺言から、参勤交代の行列が通る大津街道（おおづかいどう）沿いに墓が建てられ、そこが現在の武蔵塚公園となっている。

◇入場料 無料

◇駐車場 10 台 無料

・霊巖洞（雲巖禅寺）・・・宮本武蔵がこもって兵法の極意書である「五輪書」

を著した洞窟。洞内には観音像「岩戸観音」が安置されており、この「岩戸観音」は謡曲や能の世界でも有名な桧垣媼謡曲「檜垣」の中に出てくる観音像である。



◇利用時間（無休）

4～11月 8:00～18:00

12～3月 8:00～17:00

◇拝観料 大人 200円 小人 100円

◇問合せ先：雲巖禅寺 TEL 096-329-8854

- ・島田美術館・・・宮本武蔵の遺品、書画等を展示している。

◇開館時間

10:00～17:00(入場は 16:30 まで)

◇休館日

毎週火曜日<但し祝祭日の場合は開館>

◇入館料

一般 700 円(600 円)

大学・高校生 400 円(300 円)

小・中学生 200 円(100 円)

※()内は団体 20 名以上の場合

※保護者同伴の小学生は無料

※受付にて障害者手帳を呈示すると、本人と同伴者 1 名まで、400 円にて入館できる。

※団体 50 名以上の場合は、特別割引あり。

◇駐車場 あり

◇問い合わせ先 TEL 096-352-4597

- ・北岡自然公園・・・熊本市にある花岡山（はなおかやま）の麓にある公園で、熊本藩主細川家の菩提寺妙解寺（みょうげじ）跡。妙解寺は細川忠利の菩提寺。霊廟には、忠利とその妻、忠利の子光尚の三つが並び、脇にそれぞれに殉死した人々の墓がある。また、森鷗外の小説「阿部一族」のモデルとなった阿部弥一右衛門の墓のほか、吉良邸へ討ち入りを果たした赤穂浪士のうち、大石内蔵助をはじめとする 17 人の浪士を預かった細川綱利の墓もある。



◇連絡先 (096)356-8005

◇料金：高校生以上 200 円、中学生以下 100 円

◇営業時間：8 時 30 分～17 時 00 分（入園は 16 時 30 分まで）

◇休日：12 月 29 日～12 月 31 日

◇駐車場 10 台

- ・立田自然公園（たつだしぜんこうえん）・・・肥後藩主細川家の菩提寺泰勝寺（たいしょうじ）跡。細川家初代藤孝（ふじたか）夫妻と二代目忠興（ただおき）とガラシャ夫人の墓「四つ御廟（ごびょう）」や、武人でありながら茶道にかけては国内随一といわれた細川忠興の原図に基づいて復元された茶室「仰松軒（こうしょうけん）」などがある。茶室「仰松軒」にある手水鉢（ちょうずばち）は、京都で細川忠興が愛用したもので、豊臣秀吉や茶の師・千利休も使用したと伝えられている。歴代の細川藩主は、この手水鉢を参勤交代の道中にも持参してその風情をめでたといわれている。また、細川忠利から客分として招かれた宮本武蔵の墓もあるといわれている。



◇電話番号 (096)344-6753

◇料金 高校生以上 200 円、小・中学生 100 円
※ 30 人以上の団体 2 割引

◇営業時間 8 時 30 分～17 時 00 分
(入園は 16 時 30 分まで)

◇休日 12 月 29 日～12 月 31 日

◇駐車場情報 30 台駐車可能 無料

観光 お得情報！！

6 観光お得情報！！

熊本を観光する上でかかるのが、

- ①交通費（きっぷ）・・・熊本はバス代が高い
- ②入場（拝観）料・・・いくつもまわると結構な額になる。

観光客のために設けられているお得な「きっぷ」「入場券」がある。

①きっぷ

- ◎熊本城周辺だけをまわるなら・・・「熊本城周遊バス 1日乗車券」
(しろめぐりん)

→ 熊本駅を起点に熊本城を廻り熊本駅へと戻る。
発売当日に限り熊本城周遊バスの乗降が自由。
以下の施設利用割引券が付いている。

☆乗車券割引施設

- ・桜の馬場 城彩苑 歴史文化体験施設 湧々座
- ・熊本城
- ・熊本県立美術館本館
- ・監物台樹木園

- ・ 熊本県伝統工芸館
- ・ 旧細川刑部邸
- ・ 夏目漱石内坪井旧居
- ・ 熊本市現代美術館
- ・ 小泉八雲熊本旧居

◇大人用一日乗車券 ¥300

◇小人用一日乗車券 ¥150

◇熊本城周遊バス 1日乗車券 販売所一覧

熊本城周遊バス車内

産交バスサービスセンター（交通センター内）

熊本駅総合観光案内所

ジーアールホテル水道町

ホテルニューオータニ熊本

ホテルサンルート熊本 県庁前グリーンホテル

水前寺コンフォートホテル

熊本グリーンホテル

JR九州ホテル熊本

水道町グリーンホテル 2 アネックス

熊本ホテルキャッスル

熊本 和数奇 司館

◎熊本城のほかに本妙寺や水前寺公園だけを回るなら・・・**熊本市電**

◇運賃（どこから乗っても降りても均一運賃）

大人 150円

子供 80円

※運賃後払い

◎もっともっと熊本の観光したい！

・・・わくわく 1 day パス・わくわく 2 day パス

→・適用範囲内の路線バス、市電、電鉄電車を 1 日間(2day パスは 2 日間)何回でも利用できる乗車券。

・「熊本城」「旧細川刑部邸」を除く施設に関しては、割引料金で利用できる。

・対象路線

○熊本県内の一般路線バス

※市営バス・電鉄バス・熊本都市バス・市電・電鉄電車も可。

○深夜バス（区間運賃が別途必要）

※熊本バスは利用できないので注意！！

※その他高速バス・特急バス・快速バス、九州横断バス、空港リムジンバス、熊本港シャトルバス、コミュニティバス、定期観光バス、事業者が指定したバスも利用できない。

区間指定 1 (やや狭い範囲)

料金 1day パス 大人 500 円 小人 250 円

2day パス 大人 800 円 小人 400 円

区間指定 2 (狭い範囲)

料金 1day パス 大人 700 円 小人 350 円

県内版 (広い範囲)

料金 1day パス 大人 1,500 円 小人 750 円

※身障者、その他割引はなし。

※有効期間：2013 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日

※2015 年 4 月 1 日以降は利用できない。

◇販売所

熊本交通センター、熊本駅前バス案内所等の営業所

バス車内でも販売

※熊本都市バス・熊本市交通局・熊本電気鉄道の窓口・車内でも販売。

②入場券

◎熊本城・細川刑部邸だけの観光なら・・・熊本城の共通入場券

【熊本城・細川刑部邸共通入場券】

おとな 640 円

こども（小・中学生）240 円

【熊本城・湧々座（桜の馬場 城彩苑）共通入場券】

おとな 600 円

こども（小・中学生）200 円

◎たくさんまわりたい！！・・・満遊くまもとパスポート

★熊本市観光フリーパス★

→ 熊本市内の20の観光施設の共通入場券。

また、20の施設以外の特典施設でも、入館料又は入園料が団体扱い特典付。

※パスポートの有効期限は、発行日から14日間。

【対象施設】

①熊本城

②旧細川刑部邸

③熊本博物館（H26秋まで改修工事）

④監物台樹木園

⑤熊本県伝統工芸館

⑥北岡自然公園 細川家菩提寺・妙解寺跡

⑦夏目漱石内坪井旧居

⑧田原坂公園・田原坂資料館

- ⑨ 霊巖洞・五百羅漢・岩戸観音
- ⑩ 熊本市塚原歴史民俗資料館(塚原古墳公園)
- ⑪ 御馬下の角小屋
- ⑫ 徳富記念園
- ⑬ 立田自然公園 細川家菩提寺・泰勝寺跡
- ⑭ 熊本国際民藝館
- ⑮ 横井小楠記念館(四時軒)
- ⑯ 小泉八雲熊本旧居
- ⑰ 後藤是山記念館
- ⑱ 水前寺成趣園
- ⑲ 熊本洋学校教師ジェーンズ邸
- ⑳ 熊本市動植物園

【特典施設】

- ① 熊本県立美術館本館
- ② 細川コレクション常設展示室
- ③ 熊本市現代美術館
- ④ 桜の馬場城彩苑 歴史文化体験施設湧々座
- ⑤ 島田美術館

◇満遊くまもとパスポート

大人券 1,000円(高校生以上)

子ども券 500円(小中学生)

◇販売場所

入場対象施設20ヶ所中17ヶ所(監物台樹木園/熊本県伝統工芸館/霊巖洞除く)・熊本市内主要ホテル・JTB各支店・JTBトラベランド・阿蘇くまもと空港にて販売。

◇問い合わせ

担当部署 満遊くまもとパスポート事務局

問合せ先電話番号：(096)356-8747